

# Wコンチェルト 2023

## 松田華音 Vol.1

6歳でチャイコフスキー聖地に渡り花開いた情熱的なピアニスト

### チャイコフスキー

ピアノソロ曲 《18の小品》作品72より

第2番〈子守歌〉、第3番〈穏やかなおしかり〉、  
第8番〈対話〉

### ピアノ協奏曲第3番 ピアノ協奏曲第1番

指揮 / 齊藤一郎  
(首席客演指揮者)



©Doko Nakamura

2023年  
4月5日(水)  
18:45開演(17:45開場)  
愛知県芸術劇場  
コンサートホール

TEL052-971-5511 名古屋市東区東桜一丁目13番2号  
(地下鉄「栄」駅下車徒歩3分)



チケット料金/全席指定(未成年見入場不可)

S席 5,000円(Sペア席7,000円) A席 4,000円(Aペア席5,600円) B席 3,000円 C席 2,000円/U25席 1,000円

※ペア席は前売のみ、数量限定。 ※U25席は座席指定不可、公演日に25歳以下対象、要身分証明書、当回事務局のみの取扱い。

発売日 一般12/21 [会員先行12/19.20]

※車椅子席は当回事務局のみの取扱い。  
※当回事務局は会員先行発売・会員割引価格でのご購入が可能です。  
[当回事務局のみの取扱い、ペア席・U25席は割引対象外]  
※やむを得ない事情で公演の中止または出演者・曲目・曲順等が変更になる  
場合がございます。

お申込み  
お問合せ

セントラル愛知交響楽団

TEL 052-581-3851 チケットはホームページからもお申込みいただけます。  
(10:00~17:30/土日祝休) <http://www.caso.jp>



主催 / 公益社団法人セントラル愛知交響楽団  
後援 / 愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会

プレイガイド

・愛知芸術文化センタープレイガイド TEL 052-972-0430  
・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード【221-114】



# セントラル愛知交響楽団 Wコンチェルトシリーズ

—— ソリストの華やかな技、オーケストラとの掛け合いと調和 ——

セントラル愛知交響楽団「Wコンチェルトシリーズ」。このシリーズは、1人のソリストが2曲のコンチェルトを演奏するコンサートです。

ソリストには若手ピアニスト松田華音、金子三勇士 (2022年より開催)、ヴァイオリニスト成田達輝(2024年出演予定)が登場。

ココだけの  
耳より情報

## 松田華音 Vol.1

その1：オール・チャイコフスキー・プログラム!

チャイコフスキーを知り尽くした俊英ピアニストによるソロ演奏も必聴!

その2：演奏終了後サイン会(当日会場でCD購入の方対象)※

その3：マーシー山本教授のプレトーク有り[18:25~]

※サイン会は感染症の状況によっては開催不可となる場合もございます。ご了承ください。



©Ayako Yamamoto

### [ピアノ] 松田華音

Kanon Matsuda / Piano

香川県高松市生まれ。4歳で細田淑子に師事、ピアノをはじめる。2002年秋、6歳でモスクワに渡りE. P. イワノフ、M. ヴォスクレセンスキー、E.ヴィルサラゼ各氏に師事、翌年ロシア最高峰の名門音楽学校、モスクワ市立グネーシン記念中等(高等)音楽専門学校ピアノ科に第一位で入学。2004年 エドヴァルド・グリーグ国際ピアノ・コンクール(モスクワ)グランプリ受賞他、多くのコンクールで優勝を果たす。2011年12月、国立アレクサンドル・スクリャーピン記念博物館より2011年度の「スクリャーピン奨学生」に選ばれる。2013年2月、モスクワ市立グネーシン記念中等(高等)音楽専門学校で外国人初の最優秀生徒賞を受賞。翌年同校を首席で卒業。同年9月、モスクワ音楽院に日本人初となるロシア政府特別奨学生として入学し、2019年6月首席で卒業した。(グネーシン、モスクワ音楽院共に、ロシアで成績優秀者に贈られる「赤の卒業証書」を授与。)同年、モスクワ音楽院大学院に入学、2021年6月修了。2014年11月ドイツ・グラモフォンよりCDデビュー。2017年6月に最新アルバム「展覧会の絵」をリリースした。オーケストラとの初共演は8歳。2018年かがわ21世紀大賞受賞。

### [指揮] 齊藤一郎 (首席客演指揮者)

Ichiro Saito / Conductor



©Jorgen Axelvall

福井県出身。東京学芸大学、及び東京藝術大学音楽学部指揮科卒業後、文化庁新進芸術家海外研修員としてウィーンで研鑽を積む。東京藝術大学在学中に在宅賞受賞。2000~2004年NHK交響楽団アシスタントコンダクターを務めた。1997年大阪センチュリー交響楽団(現・日本センチュリー交響楽団)を指揮してデビュー。N響、東京交響楽団、名古屋フィル、京都市交響楽団、大阪フィル、関西フィルなど国内主要オーケストラに客演を重ねる他、スロヴァキア・フィルはじめ複数の東欧圏のオーケストラとも共演している。2009~2014年セントラル愛知交響楽団常任指揮者(現在、同団首席客演指揮者)、2014~2019年京都フィルハーモニー室内合奏団音楽監督。古典作品から国内外の現代作品、映画音楽やポップスまで幅広いレパートリーを持つ。特に、邦人作品への取り組みは大いに評価されており、2014年名古屋音楽ベンクラブ賞を受賞、齊藤がプログラミングならびに指揮をした2016年4月の京都フィルハーモニー室内合奏団定期演奏会が佐川吉男音楽賞奨励賞を受賞。 <https://ichirosaito.b-sheet.jp/>

## セントラル愛知交響楽団

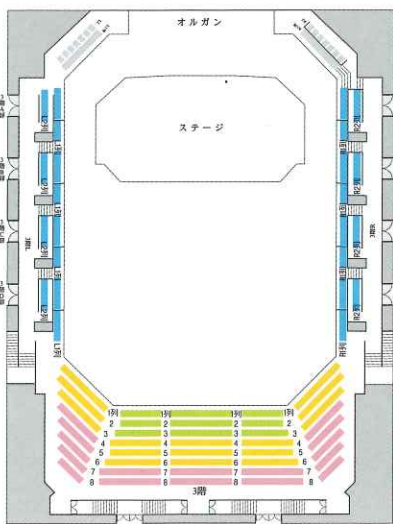
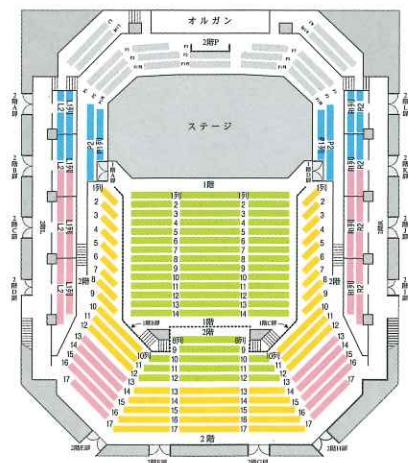
Central Aichi Symphony Orchestra

1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。1997年に現名称に改名。2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ、ミュージカル等の依頼公演にも数多く出演。海外(2007年中国・2009年タイ・2017年韓国)でも公演し成功を収める。2022年度からは愛知県芸術劇場コンサートホールで「Wコンチェルトシリーズ」「超!有名曲シリーズ」をスタートし、2023年の40周年に向け意欲的な試みを企画している。

客席のご案内

1・2階席

3階席



Twitter



Instagram



Facebook



### 感染症対策ご協力をお願い

- チケット購入時にご登録頂く個人情報は会場内で感染者が出た場合、保健所等の指導のもとに提供する場合があります。ご了承ください。
  - 発熱や体調不良の場合はご来場をお控えください。
  - 会場内でのマスク着用・検温・手指消毒にご協力ください。
  - 出演者への贈り物・面会をご遠慮ください。
- ※2022年7月現在の対策です。今後状況により変更となる場合があります。最新の情報は当団HPにてご確認ください。